

小学校低学年の部

最優秀賞

ぼくのおつきいじいちゃん

筑西市立長讚ながさ小学校 一年 武井たけい 晏慈あんじ

ぼくのいえには、おつきいじいちゃんがいる。じいちゃんは八十七さい。まいにち、じてんしゃでさんぼをしている、げんきなじいちゃんだ。はたけしごとがだいすきで、トマトやとうもろこし、スイカもつくっている。じいちゃんのはたけは、いつもにぎやか。おいしいやさいがいっぱいだ。

ぼくも、はたけのしごとをてつだうのが大すき。じいちゃんにおしえてもらうんだ。六月には、じゃがいもほりをした。土の中には大きなじゃがいもがゴロゴロ。てはどろだらけだったけど、とつてもたのしかったな。

でも、それからすこしして、じいちゃんにはゆういんしてしまった。ぼくはよくわからなかったけど、びょうきになってびょういんにいるんだって。あれ、へんだな。だって、このあいだはじゃがいもほりをいっしょにしたし、まえのひも、いっしょにごはんをたべたんだよ。そのとき、どこもいたいっていつてなかったよ。

やすみの日には、おみまいにいった。ぼくのかおをみたら、げんきになるかなって。はじめてはがぬけたときも、うれしくて、すぐみせにいったんだ。

「みてみて、あんじ、はがぬけたんだよ。」

「だいじょうぶだ。すぐはえてくらあ。」

そういつてわらってた。またおみまいにいったら、じいちゃん、びょういんのごはんをたべなかった。ぼくは、いつもきゅうしよくをぜんぶたべているのに、どうしてかな。おなかへらないのかな。おうちで、かぞくみんなでたべるごはんがいいのかなあ。

おつきいじいちゃんは、ずっとねむってしまった。ぼくよりはやいなつやすみだ。たくさんの人が、おせんこうをあげにきて、

「このあいだまで、げんきにじてんしゃでさんぼをしていたのね。」

「あんじくんと、じゃがいもほりをしてたのをみたよ。」

と、はなしてくれた。みんなの中でも、じいちゃんげんきなままなんだ。ぼくは、すこしうれいきもちがした。

ぼくの中にも、たくさんのじいちゃんがいる。大きなこえでおこられて、ないたこともあった。あかちゃんのころは、ベビーカーをおして、まいにちさんぼをしてくれたってきいた。そして、はたけにいけば、じいちゃんのところがこもったやさいがあふれている。ぼくたちかぞくは、それをたべてげんきをも

らっているんだ。じいちゃんはもういないけど、たくさんのこ
してくれたものがあるよ。

かぞくのつながりで、おとうさんとおかあさんがおしえてく
れたことがある。それは、

「おつきいじいちゃんがいなかったら、あんじは、いま、いな
いんだよ。」

ということ。ねえ、おつきいじいちゃん、それってすごいこと
だね。目にはみえないけど、かぞくはそうやってつづいてい
くんだね。